

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		地域間交流事業		担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3005	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	2	市民との協働・交流の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市と友好都市の交流を推進するため、友好都市との交流事業に関する連絡調整及び情報発信を行うものである。								
目的 ※何のために		市民レベルの友好都市との交流促進								
対象 ※誰・何を対象に		市民、友好都市及びその関係団体								
手段 ※どのように		交流事業の環境づくり支援及びPRを行う。								
成果 ※何を求めるか		交流事業を通して、友好都市との深い関係性を築くとともに、双方の認知度を向上させる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	地域間交流事業	15,518
本事業の 主な業務		・ 友好都市との連絡調整					・			
		・ 友好都市のイベント等の情報発信					・			
		・ 友好都市との交流の支援					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		友好都市との交流事業展開	友好都市との交流事業展開	友好都市との交流事業展開	友好都市との交流事業展開	友好都市との交流事業展開	友好都市との交流事業展開
事業費	予算(現額)	62,000	71,000	61,000	61,000	61,000	61,000
	決算額	46,217	51,387	26,668	60,940	15,518	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	46,217	51,387	26,668	15,518	61,000
人件費	従事職員数(人)	0.19	0.19	0.19	0.24	0.24	0.24
	人件費相当試算※	1,478,010	1,478,580	1,493,590	1,952,640	1,862,860	1,951,524
	総事業費試算	1,524,227	1,529,967	1,520,258	2,013,580	1,878,378	2,012,524

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	友好都市と交流を行った事業数	目標値	件	1	1	1	1	1	1
		実績値		1	3	2	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協働推進課が関係する交流事業数 / 実績値（単年度）						
	実績値の算出式								
成果指標 1	交流事業への参加者数	目標値	人	18	15	15	15	15	15
		実績値		19	27	21	1	1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協働推進課が関係する交流事業の参加者数（協働推進課職員を含む） / 実績値（単年度）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新型コロナウイルス感染症防止のため、事業を実施することができなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症防止のため、事業を実施することができなかったことから、意図した成果を上げることはできなかった。
			評価者 協働推進係長 田中 信江

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	事業の推進には、メール及びデータ送信により、関係機関とICTを活用した連携をとっている。
			評価者 協働推進係長 田中 信江

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	南魚沼市のコシヒカリの郷は「児童・生徒」、同市の雪まつりは「イメージキャラクター」、富岡市の元氣フェスタは「市民主体の交流」として進めていくことが必要と考える。
達成状況及び その効果	新型コロナウイルス感染防止のため、友好都市との交流を図ることができなかった。一方で、代替案として実施した市内小学生を対象とした、市の友好都市を紹介するチラシの作成・配布は、市民の友好都市の認知度向上につながり、今後の活動を活発化させるための一助になったと考えられる。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域間交流事業	担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3005
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>新型コロナウイルス感染防止のため、友好都市との交流を図ることができなかった。しかし、市内の小学生を対象とした友好都市の認知度をあげる取り組みは、これからの交流の一助になると考えられる。今後、新型コロナウイルスの影響が減少し、交流を図ることができる環境が整えば、積極的に交流を実施していく必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	協働推進課長 笠原 毅				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	南魚沼市のコシヒカリの郷は「児童・生徒」、同市の雪まつりは「イメージキャラクター」、富岡市の元氣フェスタは「市民主体の交流」として進めていくことが必要と考える。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	今後、新型コロナウイルスの影響が減少し、交流を図ることができる環境が整えば、積極的に交流を実施していく。

8. 評価指標グラフ

